

リサイクルポート推進協議会 (平成 29 年 3 月 23 日発行)

《今週号の主な内容》

◇先週・今週の報道発表

1. 平成 29 年度低炭素製品普及に向けた 3R 体制構築支援事業を募集します。

2. 長期低炭素ビジョンの取りまとめについて

3. 東京湾再生のための行動計画 (第二期) 第一回中間評価の結果について

◇RPPC 事務局からのお知らせ

H28 第 2 回循環資源利用促進部会の開催について (4 月 11 日)

◇リサイクルポートに関する最新の情報

1. 港湾の中長期政策、港湾分科会で委員から意見聴く

2. 浚渫工 I C T 対応等、港湾工事積算基準を改定

3. 港湾局が薬注工法の対応方針を検討、年度内にまとめ

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 平成 29 年度低炭素製品普及に向けた 3R 体制構築支援事業を募集します。

<http://www.env.go.jp/press/103778.html>

【環境省 平成 29 年 3 月 16 日】

2. 長期低炭素ビジョンの取りまとめについて

<http://www.env.go.jp/press/103822.html>

【環境省 平成 29 年 3 月 16 日】

3. 東京湾再生のための行動計画（第二期）第一回中間評価の結果について

<http://www.env.go.jp/press/103818.html>

【環境省 平成 29 年 3 月 17 日】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. H28 第 2 回循環資源利用促進部会の開催について

本年度第 2 回循環資源利用促進部会の下記のとおり開催致します。

日時：2017 年 4 月 11 日（火）午後 3 時～

場所：みなと総研 3 階会議室

ご多忙中とは存じますが、ご参集お願いいたします。

2. 庄内リサイクル産業情報センターのメールマガジンです。

～ 添付 PDF をご参照ください ～

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾の中長期政策、港湾分科会で委員から意見聴く

国土交通省港湾局は 3 月 10 日に開催した交通政策審議会港湾分科会において、2030 年を目標とした港湾の中長期政策の取りまとめ動向を説明すると共に委員から意見を聴いた。同中長期政策は今年夏、新しく取り込む政策事項についての中間取りまとめを行い、30 年夏に最終版を策定する方向で作業が進んでいる。

港湾の新たな中長期政策は、現行の港湾政策事項においても必要な事項は継続しつつ、「新しく打ち出す政策」、「将来の打ちだしに向けて検討を進める政策」に分けて議論を進めている。このうち「新しく打ち

出す政策」では、▽グローバルSCMを支える国際輸送ネットワークの構築、▽効率的かつ持続的なサプライチェーンの構築、など。

また「将来の打ちだしに向けて検討を進める政策」は、▽資源エネルギーサプライチェーンの多様化への対応、▽港湾・物流活動のグリーン化、▽大規模災害に備えたサプライチェーンの強靱化など。

委員からは、▽どのテーマをいつまでに行うかといった視点が必要、▽内航を重視した政策の必要性、▽地方創生に繋がる港湾ビジョンを打ち出すことが重要、▽東南アジアネットワークの強化が大事、などの意見があった。

【港湾空港タイムス】

2. 浚渫工ICT対応等、港湾工事積算基準を改定

国土交通省港湾局は、港湾の土木請負工事等の積算価格を算出する基準となる「国土交通省港湾請負工事積算基準」を改定する。ICTを活用した港湾工事（浚渫工）の起工測量等に適用するマルチビーム測探に係る施工歩掛や、岸壁改良工事等における附属工の撤去に使用する防舷材・車止の撤去にかかる施工歩掛を新設する。4月1日以降に入札を行う工事、並びに同日以降に契約する業務から適用する。

マルチビームによる測量等の歩掛新設は、港湾工事において測量から設計～施工～検査に至る一連の建設生産プロセスを通して3次元データの活用を図り、工事の生産性と安全性の向上を推進するために実施する。来年度施行工事を行う、「ICT活用工事（浚渫工）」に適用する。

【港湾空港タイムス】

3. 港湾局が薬注工法の対応方針を検討、年度内にまとめ

国土交通省港湾局は3月9日、「第2回埋立地等における薬液注入工法による地盤改良工事に関する検討委員会（委員長・善功企九州大学大学院工学研究院特任教授）」を開催した。埋立地における地盤改良前の対象地盤の評価方法、施工中の施工管理方法、改良後の施工確認方法について、現状の課題と対応方針、中長期手な課題等について検討した。今回の議論を踏まえ、年度内に対応方針等を取りまとめ公表する見通し。

同検討では地盤改良効果が長期にわたって期待される薬液注入を用いた液状化対策、耐震補強対策等の強度増加、止水性の向上を目的

としたものを適用範囲とし、同目的で開発された低速度で薬液を地盤内に均一に浸透注入できる工法を対象としている。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////